

其出河三目ニ著地スキヤ揚南門ニ由ニ代令七
思多珍才才也内閣上り度事形ハ右々令福
公債福多買入し増利ニ可仕目的ハ存ハ何有
此地ハナ

閣下ニ内閣上事形リトナリ不刻命モナリ臣
ハ如追而み内閣下事形度有し強ハ存ハ
他人ハ後後りる元價云々再至得ル事

○ 井上馨君一報省此全権ハ譲リ

閣下事工部ニ事業ハ擴張し思召
ト如出ハ凡存存し且保よ事ハ博考ト事
物ハ言ハ無也ヤ否

○ 新濱港海路ニ事地ハ必無是事ナリ
其費用モ内地ニ籍道ハ振向ニ方
得失多ク

○ 公債福多外外人ニ事買ハ禁制ニ事
只今迄モ内閣ノ人情ニ對シ物販

ハ如今令し治才共ニ事買ハ多ク右ナリ
買ハ多ク許ハ成ルニ起業ハ公債福多忽チ
片付ナリ一実ナ起業ハ公債福多刻命ニ成

○ 新公債ニ内閣ニ事人民ニ事解ト事免稅福
常モ多ク新公債ニ價ト事為事仕ト事考仕
ハ其多ク事ハ内閣ニ事候ハ何ハ事一方々事
形ハ其先ト起業ハ公債福多限リ外人ニ事買

○ 備手治才ニ事評議ト事在ナリ事多ク
内閣ニ事

○ 一物一始ハ有札買入ト事業種付地ハ

○
一、新し始め有札受入りて葉屋種付地所
少拂下落札と云々言ふ事外に益を得り并
新秋務井抄恒と旧賀友ト敷一りりて
七句通り考むる一放免後旧在号ありて債上
実際引取き一
此今七古半葉抄傷し
言合ふる事 實腦力を
以て中しと就る事多しや、其抄傷き此の度其
少多ありて抄傷余ふし由一立入り事一多し
只仲買別居と稱するは、新付とよみ其古玉園み
ありし新引号合ひ多し一りりりて其近來
其傷る名玉令知るは、其抄傷玉取後口を
却一合も多しや、少ありて用散る事ありて
日之用少く一紙出地有るは、用事何處迄備
少少居報一々少試みたり一人とありと枝
葉し言陳の者一とらぬ抄傷事一何卒厚庇
在の才一、隱然邦家此の多ありて抄傷徳を
其家此の事富と成りれ立至り六御从
生有し抄傷、何少試し程偏る事新りある
月給ホし小事と云ふは、何れに少少筆并
日一親為中一且努力正以西旧恩し万一正
むるに多し多し、追々微功を信みりて
蓋棺有、人より見入るは、其抄傷事
力一少少在事申上、度十如山、少少在り
先、今日七是限の神少少在

六月九日